

■台湾：経済部が電気料金改訂を2013年10月以降に延期

経済部（MOEA）は2012年9月18日、5月に決定した3段階の電気料金の値上げ（6月、12月、2013年初旬に実施）について、今後の値上げを2013年10月以降に延期すると発表した。同部は、電気料金を6月10日に8.9%（実施済）、12月10日に8.9%、2013年初旬に4.5%値上げし、台湾電力公司（TAIPOWER）の販売単価を最終的に2.89元/kWh（約7.9円/kWh）に引き上げるとしていた。しかし、複数の与野党議員や企業から「台湾電力によるIPPからの買い取り価格の引き下げによって、値上げを回避すべき」との意見が出、延期を決定した。同省の関係者は「IPPと電力売買契約の見直しについて交渉し、また、台湾電力の赤字を削減するための、燃料調整制度の導入について関係機関と協議する」とコメントしている。